

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	静岡県・浜松市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	浜松市中山間地域の文化遺産活用プラン		【計画の改善時期】 平成 年度
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>浜松市総合計画「浜松市未来ビジョン」（平成26年度策定）、第1次浜松市中山間地域振興計画「山里いきいきプラン」（平成21年度策定/実施機関平成22～26年度）、第2次浜松市中山間地域振興計画「みんなでやらまいか宣言！」（平成26年度策定/実施機関平成27～36年度）を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、以下の取り組みを実施する。また、計画期間中、以下の取り組みを通じて行政と文化財保護団体による連携・協力体制の確立を目指す。</p> <p>(1) 中山間地域等に所在する文化遺産に関する情報発信 (2) 中山間地域等に伝承されている民俗芸能の普及啓発事業 (3) 中山間地域等に伝承されている民俗芸能の記録作成事業 (4) 中山間地域等に伝承されている民俗芸能の後継者養成事業 (5) 中山間地域等に伝承されている民俗芸能の用具等整備事業</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。</p> <p>市民部文化財課：文化財関係事業及び取扱いに関する指導等 区役所まちづくり推進課：文化財事業及び観光事業に関する調整等、地域活性化業務に関する連携等 協働センター（第1種）：文化財事業に関する調整等、地域活性化業務に関する調整等 都市整備部土地政策課：歴史的風致維持向上計画案との調整等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。補助事業に係る書類及び成果品等は実行委員会事務局が管理することとし、実施期間終了後は、浜松市に継承する。</p> <p>浜松市中山間地域の文化遺産活用実行委員会（会長：高井勇） 構成団体：遠江のひよんどりとおくない連絡協議会、 横尾歌舞伎保存会、 浜松市</p> <p>各年度の事業終了後は、外部有識者、浜松市役所関係課及び浜松市中山間地域の文化遺産活用実行委員会で構成される成果評価委員会（仮称）において、事業の実施報告及び成果の評価を行う。また、評価結果については、毎年度、浜松市中山間地域の文化遺産活用プランで実施する事業計画内容に反映させることとする。具体的には、各事業の進行管理及び成果品等の活用について評価し、文化財の本質的な価値の維持・向上と観光振興・地域活性化に資するものとなるよう反映する。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 82,698 千円	平成31年度申請額： 9,577 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本計画に基づく事業の実施により、市民の文化遺産、特に中山間地域に所在する文化遺産に対する意識や関心が高まり、中山間地域への来訪者数の増加や農山村の交流人口の拡大が期待できるほか、市民が身近な文化遺産に対して親しみを持つことで、本市の文化振興が一層促進されることが想定される。ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野の加盟も追い風となり、市内の民俗芸能等の価値が再認識され伝承基盤が強化された本市の文化遺産が効果的にプロモーションされることで、地域活動そのものが活性化され、経済波及効果も期待できる。さらに、文化財関係団体だけでなく、中山間地域振興を目的とするNPO等との連携が生まれ『第2次浜松市中山間地域振興計画』重点施策「地域をプロモーションする～地域の魅力を活かして賑わいを再生～」のもと地域づくりと誘客の促進が図られる。本市の中山間地域にしかない魅力を全国に売り込む契機となる。</p>			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	2019大河ドラマ「いだてん」ゆかりの地ツアー（遠州鉄道株式会社、天竜浜名湖鉄道、旅行代理店等）
事業概要：	静岡 destinations キャンペーン（JR東海、静岡県、浜松浜名湖ツーリズムビューロー等）
事業概要：	（仮称）日本遺産認定記念&歴史まちづくり計画策定キックオフイベント「“海の湖”とともに500年～浜松・浜名湖の歴史まちづくり」シンポジウム（浜松市、浜松・浜名湖ツーリズムビューロー等）
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
<p>本計画の実施により、地域の文化遺産をその歴史や風土と一体化して保存・活用していこうとする意識が一層醸成される。現時点で「浜松市歴史的風致維持向上計画」の策定と認定に向けた取組みが進められている。</p> <p>平成27年11月 国交省中部地方整備局来訪、本市副市長と意見交換、重点区域候補地視察 平成28年11月 市議会代表質問に対し計画策定に取り組む旨答弁 平成29年 3月 国土交通省都市局と事前相談 平成30年 4月 まちづくり部局と連携し計画策定着手 平成30年 6月 国土交通省都市局協議 平成30年 9月 第1回3省庁協議 平成31年 1月 第2回3省庁協議、国交省中部地方整備局視察 平成31年 4月～3省庁協議を継続 令和2（平成32）年度前半（予定） 浜松市歴史的風致維持向上計画の策定及び認定</p> <p>また、文化財保護法の改正に伴い、平成31年度当初から「浜松市文化財保存活用地域計画」の策定及び認定に向けた取組みにも着手する。</p> <p>平成30年度 平成31年度当初予算要求及び文化庁補助金申請 平成31年度 地域計画策定業務着手 令和2（平成32）年度 地域計画策定及び認定（予定） 令和3～7（平成33～37）年度 地域計画に基づく文化財の保存活用事業遂行</p>	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	市民部 文化財課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	農村歌舞伎公演への会場充足率			関連事業:	事業番号①②	
目標値1:	【現状値】平成28年度71% ⇒ 【目標値】平成33年度78%					
設定根拠1:	平成27年度市内3会場の平均充足率69.5%に対し、毎年度1.5%ずつ上昇と設定					
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
75%	77%					
57%	86%					
目標区分2:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分2:	地域の文化遺産を活用した取組数(本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	無形民俗文化財保護団体とNPO等との連携・協働事業			関連事業:	事業番号①⑤	
目標値2:	【現状値】平成28年度1件 ⇒ 【目標値】平成33年度6件					
設定根拠2:	中山間地域振興を目的とするNPO等と平成28年度に初めて連携・協働で取組み開始以降、毎年度1件ずつ増加を設定					
進捗状況2:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
3件	5件					
40%	80%					
目標区分3:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分3:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	農村歌舞伎保存会会員数、保存団体数			関連事業:	事業番号③④⑤	
目標値3:	【現状値】平成28年度195人 ⇒ 【目標値】平成33年度195人					
設定根拠3:	保存会の所在する中山間地域の人口増減率(-8.33%)及び高齢化率(39.15%)から、現状維持を設定					
進捗状況3:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
195人	195人					
100%	100%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	中山間地域の文化遺産に関する総合的な情報発信事業	実施団体：	浜松市中山間地域の文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	市内の中山間地域に暮らす人々の絆により伝承される民俗芸能などの無形民俗文化財及びそれら芸能・祭礼を支える保存技術を紹介するための映像資料を作成する。文化遺産を伝える人々の営みを取り上げ、DVDメディア等で公開する。					
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数 (PV数)	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	無形民俗文化財紹介の産官学連携組織ホームページにおけるPV数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 PV ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5,000 PV					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
20 PV	119 PV	PV	PV	PV	PV	
0%	2%					
事業②：	中山間地域等に伝承されている民俗芸能 (農村歌舞伎) の普及啓発事業	実施団体：	浜松市中山間地域の文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	地域に伝わる民俗芸能 (農村歌舞伎) を広く市民に周知するため、農村歌舞伎を公開する特別公演又は歌舞伎体験ワークショップを開催する。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	農村歌舞伎保存会会員数を維持するため、自然減を補う新規入会者を獲得する					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 15 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
2 人	7 人	人	人	人	人	
13%	47%					
事業③：	中山間地域等に伝承されている地域の伝統行事・民俗芸能の映像記録作成事業	実施団体：	浜松市中山間地域の文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 32 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	中山間地域等で行われている地域的特色のあるひよんどり等伝統行事・民俗芸能の継承に用いるため、行事や芸能の諸準備や進行等を収録した映像記録及び普及版映像を作成し、情報発信にも活用する。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	中山間地域の人口増減率 (-8.33%) から現状維持を設定 行事名：寺野のひよんどり					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 40 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 40 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
— 人	— 人	人	人	人	人	
未実施	未実施					

事業④：	中山間地域等に伝承されている民俗芸能（農村歌舞伎）の後継者養成事業	実施団体：	浜松市中山間地域の文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	地域に伝わる民俗芸能（農村歌舞伎）を次世代に伝承するため、農村歌舞伎保存会における技術練磨等後継者養成事業を年間を通じて実施する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	中山間地域の人口増減率（-8.33%）から現状維持を設定 保存会名：農村歌舞伎保存会（横尾、浦川、雄踏）					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 195 （単位） ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 195 （単位）					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
195 （単位）	195 （単位）	（単位）	（単位）	（単位）	（単位）	
100%	100%					
事業⑤：	中山間地域等に伝わる民俗芸能の用具等整備事業	実施団体：	浜松市中山間地域の文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 32 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	中山間地域等で行われている地域的特色のある伝統行事・民俗芸能の用具等を修理・新調し、あわせて衣裳等の手入れや面・採り物の扱い方を練磨する後継者養成の取組みを行う。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	中山間地域の人口増減率（-8.33%）から現状維持を設定 保存会名：川合花の舞保存会、農村歌舞伎保存会（横尾、浦川、雄踏）					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 235 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 235 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
— 人	— 人	人	人	人	人	
未実施	未実施					